

いいあいさつの上にある
あいさつのすばらしさ

3年 H・M・

皆さんはあいさつについてどう思いますか。あいさつをするのは面倒だ、と思う人もいるかもしれませんが。でも私は、すばらしいものだと思います。理由は2つあります。

基本中の基本

1つ目は、あいさつはコミュニケーションの基本中の基本だからです。地域の方とあいさつを交わすだけで、簡単にコミュニケーションをとることができます。そこでいいあいさつをすれば、顔を覚えてもらい、また声をかけてもらえます。そうして地域の方と積極的にかかわるようになれば、災害時などのいざという時に大切になってくる地域の人

との絆が深められると思います。この好循環はコミュニケーションをとることから生まれます。その基本があいさつなのです。

いい気持ち・いい笑顔 ―逆もある―

2つ目は、自分も相手もいい気持ちになれば、笑顔になれるからです。6月に岩室中学校に教育実習の先生が来られました。初日に、「元気のよいあいさつをしてくれてとても頑張ろうという気持ちになった。」とおっしゃっていました。

私はこの言葉を聞いて、「私たちのあいさつでこんなことを思ってくれたんだ。」というようにあいつは人に元気を与えることができます。

しかし逆に、返ってこないと悲しくなります。

私は登校中に「おはようございます。」とあいさつをしたけれど、返ってこないことがありました。相手の顔をしっかりと見て大きな声で言ったつもりだったけれど、相手は聞こえなかったのか、こちらを向いてもくれませんでした。

「せつかくしたのになんで返してくれないの。」ととても嫌な気持ちになりました。このように、あいさつは、相手がどう返してくれるかによってうれしくなるか、悲しくなるかわります。これほど大きな力をもっているのです。

大切なのは『心』

では、『いいあいさつ』とはどんなあいさつだと思いますか。この問題に完璧な正解はないと思います。『いいあいさつ』のとらえ方は

人それぞれだからです。

私は、小さい頃から「大きな声で、相手の目を見て、はっきりと。」と教えられてきました。

でも私は一番大切なものは、『心』だと思います。『あいさつをしようとする心』は、大きな声や相手の目を見てはつきり、などのことよりもいいあいさつに近づくための大きな一歩だと考えるからです。

そもそも心を込めてあいさつをすれば、大きな声、相手の目を見る、はつきりと、のほかに笑顔、自分からなどのことが自然にできるのではないのでしょうか。そして、最終的には自分のためになり、自分も相手もいい気持ちになれるあいさつができると思います。

実践が大事

しかし、『いいあいさつ』は口で言うほど簡単にできるものではありません。大人でも本当にできている人は少ないと思います。私自身も本当に『いいあいさつ』ができたと思うときはそれほど多くはありません。

けれども、この『心』を込めた『いいあいさつ』があつてこそ、本当の意味であいさつは素晴らしいものになると思います。

あいさつによってコミュニケーションをとる、地域の人との絆を深めること。自分も相手もいい気持ちになれるあいさつをするにと。この2つを実践するために私はこれから『いいあいさつ』ができるように頑張りたいと思います。